

振興の目標に関する事項

■美容業が、国民生活の向上に貢献できるように、経営環境や国民ニーズ、衛生課題に適切に対応しつつ、各々の事業者の経営戦略に基づき、専門性や技術力、地域密着、対面接客等の特性を活かし、事業の安定と活力ある発展を図る。

- 顧客への総合的な美(トータルビューティ)の提供
- 美と健康を求める利用者の需要への対応、サービスの総合化
- 新たなサービスや技術への対応
- 高齢者等のニーズへの対応、地域の高齢者等の買い物弱者から頼られる存在
- 衛生管理の徹底、技術・サービスの向上、利用者への情報提供 等

目標を達成するために必要な事項

■事業者は、衛生確保に適切に取り組むとともに、経営環境や市場を十分に把握・分析し、独自の強みを見出し、経営方針を明確化し、付加価値や独自性、顧客満足度を高めていくため、次のような取組を実施することが期待。

- 店のコンセプトの明確化とそれに対応した店づくり
- 重点サービスの明確化とサービスの充実
(新しいヘアスタイルの提案、総合的な美のためのコーディネート、まつ毛エクステンション等のサービスの多様化等)
- 高齢者等の訪問美容・送迎
- 地域住民のサロン 等

営業に際し配慮すべき事項

少子高齢化社会への対応、環境の保全・省エネルギーの強化、地域との共生(地域コミュニティの再生・強化、商店街の活性化)、東日本大震災への対応

事業者に対する支援・行政施策・政策金融

- 組合・連合会
・事業者支援、研修会、相談・助言(特に新規開設者対象)、消費者保護、広報 等
- 全国指導センター・都道府県指導センター
・指導・助言、情報提供、効果測定支援、政策提言 等
- 国・都道府県・日本政策金融公庫
・政策支援(予算・金融・税制)、指導監督、相談、情報提供 等